

必ず読んでください

# 飲酒による死 について 考えたことが ありますか

ストップ！ 飲酒事故・アルコールハラスメント・未成年飲酒

学生団体の懇親会での飲酒が原因で塾生が亡くなるという悲痛な事故が2012年度に2件起こりました。飲酒にかかわる大学生の事故・事件はその他にも多数発生しています。塾生諸君は飲酒についての知識をしっかりと身につけてください。

## 日本人はお酒に弱い人種です

酒を摂取すると体内に猛毒のアセトアルデヒドが発生します。日本人の約半数の人はその有害物質を速やかに分解できず、5%くらいの人には全く分解できません。お酒に弱い人は有害物質が高濃度で体内に残りやすく、少量の飲酒でも危険な状態に陥ります。

有害物質を分解する機能が弱い  
または分解できない人の割合

日本人	約45%
中国人	約40%
韓国人	約30%
タイ人	約10%
ドイツ人	0%
エジプト人	0%
ケニア人	0%

## 未成年の飲酒は 違法行為です

未成年の飲酒は、決してしてはならない、他人にもさせてはなりません。未成年が飲酒した場合、飲んだ本人のみならず、その会合を企画した幹事および団体の責任が追求されます。「未成年であることを知らなかった」という言い訳は通用しません。

裏面もお読みください

## 死に至る急性アルコール中毒

急性アルコール中毒は血中アルコール濃度が上昇することにより起こり、酒に強いかどうかという体質とは関係なく発生します。血中アルコール濃度は「アルコールの量」と「飲むスピード」で決まります。自分はお酒に強いと思っている人が飲みすぎてしまい急性アルコール中毒になるケースも多いのです。



血中アルコール濃度の上昇により  
事態は急変し、死に至ります。

### 飲酒が脳に及ぼす影響の4段階

ほろ酔い	大脳新皮質がマヒ
酩酊	マヒが大脳辺縁系に及ぶ
泥酔	大脳全体、脳幹や脊髄にマヒが広がる
昏睡	呼吸機能を制御する延髄までマヒ

## コールはNG！ 飲酒の強要は刑事・民事責任に問われます！

- ・サークルの伝統として行われる飲み方が事故を招きます。特にイッキ飲みを煽る「コール」は危険ですので行わないでください。
- ・断りづらい雰囲気の中で飲酒をすすめることは事実上の「飲酒の強要」であり、アルコール・ハラスメントにあたります。アルハラは断じて許すことはできません。このような飲酒行為に対して慶應義塾大学は厳格な態度で臨みます。

## もし酔いつぶれてしまったら

- ・絶対に一人にしない
- ・体温の低下を防ぐ
- ・回復体位を取らせる

この体位で舌根沈下や吐物による窒息を防ぎます



## 「多分大丈夫だろう」が死につながります



「もしかしたらヤバイかも」  
と思って病院に搬送してください

ひとりで  
立ち上がれない



危険性が高い状態です。病院に搬送してください。

夜間であれば救急病院へ。

夜間救急病院案内

検索

つねとも  
いやがる仕草をしない



重篤な状態です。救急車を呼んでください。

飲酒にかかわる問題が生じたら、学生部・学生相談室・保健管理センター・ハラスメント防止委員会などの学内諸機関にご相談ください。

日吉学生部学生生活担当 045-566-1025